

戦国ロマンと夏の味覚を満喫！

# 三木平井山ぶどう狩りコース

**コース** 三木上の丸駅～三木城址～岩壺神社～慈眼寺～潜水橋～平井山ぶどう園  
～恵比須駅(約8キロ・一般向)

**歩行時間** 約2時間30分

平井山ぶどう園 8月10日～9月下旬開園 ※恵比須駅前から無料送迎バス

今回は歴史と夏の味覚をたずねて、三木城址から平井山観光ぶどう園を目指し歩きます。

平井山は羽柴秀吉の三木城攻めのおり、本陣が置かれた場所で、現在はぶどう園になっています。

三木上の丸駅の改札を出て道路を左に折れ、神戸電鉄の高架をくぐり、すぐ左手の石の階段を上ります。そこが三木城址です。城主別所長治公が足かけ3年にわたって秀吉軍と戦いをくりひろげて、そのようすを伝える絵看板や長治公の石像①、辞世の句碑などがあります。見学の後、来た道を戻り、上の丸の信号を横断し直進します。小さな平山橋を渡ると湯の山街道の道標があり右に折れて戎神社方面へ歩きます。この道は有馬の湯が栄えたところ、これに通じる道を「湯の山街道」と呼ぶようになりました。街道沿いには古い屋敷やお寺が点在します。約20分程度で戎神社。左に折れ、三木小学校を左手にみて進むと岩壺神社②があります。

静かな境内で少し休憩の後、慈眼寺を目指し出発です。神社正面の鳥居をくぐり、すぐ右へ折れ農道を北に進みます。のどかな田園風景の中を約30分ほど行くと車道に合流。右に折れ、美囊川に架かる長久橋を渡ります。少し行き横断歩道を渡ると右手に石柱があり、石柱正面には「大日本中央標準子午線」、東面には「東経百三十五度」と彫られていました。石柱前の道を直進。鉄塔右手の農道を進みます。少し広い道に合流したら右へ、はるか右手前方に雌岡山・雄岡山が見えます。道なりに行くと左手に慈眼寺③の石柱。ここには鎌倉時代末期、延慶2年(1309)の銘がある県指定重要文化財の梵鐘



があります。また、義賊鼠小僧次郎吉の墓があることでも有名。静寂の中、梵鐘と鼠小僧の墓を見学し、慈眼寺をあとにしました。

石柱まで戻り左へ。すぐ右に折れ直進。田んぼの向うに八雲神社があります。神社前信号を渡り、神社正面の舗装路を下ります。約20分ほど行くと近畿自然歩道の道標があり、これに従い左へ折れ、少し行くと美囊川に架かる潜水橋(沈下橋)④があります。(※その名のとおり、増水時には川中にもぐってしまいます。前日・当日の天気(雨)によっては通行できませんのでご注意ください。)

コンクリートの橋を渡り道標に従い左へ折れ農道を直進します。つきあたりの薄暗い雑木林を抜けて行くと車道に合流。横断して平井公民館横の舗装路を行くと右手に道標。竹中半兵衛の墓を訪ねます。

ぶどう畑の中、白い練りべいに囲まれて墓がある竹中半兵衛は、秀吉の片腕として活躍した軍師で、天正7年(1579)6月、36歳の若さで平井山の陣中で病没しました。お参りをして、道標まで戻り、右へ折れ約15分ほど行くと平井山観光ぶどう園⑤に到着します。夏の太陽の恵みをいっぱい受けて甘みを蓄えた大粒のぶどうを味わってください。

さて、ぶどう園から神鉄恵比須駅までは徒歩約40分。また、ぶどう狩り開園中は入園者のために、ぶどう園から恵比須駅まで無料送迎バスが運行しています。